平成 2 9 年 第 1 1 回

教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

平成 2 9 年 1 1 月 1 日

平成29年第11回教育委員会定例会会議録

平成29年11月1日(水)

出席者(5名)

教育長 高部 明夫
委員 須藤 金一
委員 畑谷 貴美子

委員 池田 清貴
委員 高橋 京子

欠席者(0名)

出席説明員

教育部長・調整担当部長

宮崎 望

学務課長

桑名 茂

指導課長

松永 透

三鷹図書館長

田中 博文

教育部参事(スポーツと文化部生涯
学習課長)

古谷 一祐

事務局職員

主事

大塚 俊介

総務課長

高松 真也

学務課教育支援担当課長・指導課支
援教育担当課長・総合教育相談室長

田中 容子

指導課教育施策担当課長

木下 英典

教育部理事(スポーツと文化部調整
担当部長・芸術文化課長事務取扱)

向井 研一

教育部参事(スポーツと文化部スポ
ーツ推進課長)

室谷 浩一

主事

福島 学

平成29年第11回教育委員会定例会
議 事 日 程

平成29年11月1日（水）午後3時30分開議

日程第1 議案第39号 平成29年度一般会計補正予算見積書について

日程第2 教育長報告

午後 3時37分 開会

- 高部教育長 ただいまから平成29年第11回教育委員会定例会を開会いたします。
本日の会議録の署名委員は、畑谷委員にお願いをいたします。
それでは議事日程に従いまして、議事を進めてまいります。

日程第1 議案第39号 平成29年度一般会計補正予算見積書について

- 高部教育長 日程第1 議案第39号を議題といたします。

(書記朗読)

- 高部教育長 提案理由の説明をお願いいたします。総務課長。

- 高松総務課長 それでは、議案第39号 平成29年度一般会計補正予算見積書についてご説明をさせていただきます。

本日ご配付をさせていただいております、議案第39号と左肩に記載してある表の資料をごらんください。

こちらの議案ですけれども、12月の市議会定例会で補正予算を提案するために、市長に補正予算見積書を提出するという内容でございます。

議案資料の1ページをお開きください。歳入歳出予算見積総括表でございます。今回の補正予算ですけれども、左側歳入、右側歳出ですが、歳入歳出予算にそれぞれ25万円を増額計上するものとなります。

一番最後のページ、3ページをごらんいただけますでしょうか。こちらが歳出予算見積概要でございます。今回の補正予算案件は1件です。学校教育振興費でございますけれども、内容といたしましては、さきに市民の方から学校教育の充実に活用してほしいということで寄附のお申し出がございまして、具体的には、第一小学校、第六中学校の教育活動の充実に、教材用備品購入費として小学校、中学校合わせて25万円を増額計上するというものでございます。

あわせて、その前のページ、2ページにございますように、こちらは歳入予算見積概要ですけれども、寄附金25万円を増額計上するという内容となっております。内容の詳細につきましては、学務課長より補足説明をさせていただきます。

なお、この補正予算案につきましては、今後、市長査定を経て確定をしていく内容となっております。

私からは以上でございます。

- 高部教育長 学務課長。

- 桑名学務課長 それでは私から、教育費寄附金と教材用備品の充実に、別添の議案第39号参考資料をもとにご説明をさせていただきます。

本年9月に、市民の方から、教育振興を目的としましたご寄附をいただきました。学校教育の充実に資する事業の財源として活用させていただくために、今回、必要な事業費を計上するものでございますが、寄附金の活用の具体的な内容につきましては、寄附者の方のご意向を踏まえまして、第一小学校及び第六中学校の学習環境の充実に、教

材用備品の整備を予定しております。

備品の選定につきましては、学校の希望も尊重しまして、第一小学校では、クラブ活動において児童が使用する卓球台を、それから第六中学校では、理科教育の振興に資するため顕微鏡を購入しまして、学習環境の充実を図ることとしております。

補正予算額の計上額につきましては、歳入が25万円で、歳出はそれぞれ、第一小学校に12万5,000円、第六中学校に12万5,000円となっております。

説明は以上でございます。

○高部教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。

委員の皆様の質疑をお願いいたします。

ご質問、ご意見等がなければ、採決いたします。

議案第39号 平成29年度一般会計補正予算見積書につきましては、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高部教育長 ご異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

日程第2 教育長報告

○高部教育長 引き続き、日程第2 教育長報告に入ります。各課報告をお願いします。総務課長。

○高松総務課長 それでは、各課報告をさせていただきます。

議案資料、本冊の3ページ、4ページをお開きいただけますでしょうか。総務課でございます。

まず、3ページの実績等報告についてですけれども、下から3段目です。10月13日に東京都市町村教育委員会連合会の管外視察研修、その下、17日に連合会第4ブロック研修会が開催されまして、それぞれ高橋委員、また畑谷委員にご参加をいただいたところでございます。ありがとうございました。

また、一番下、10月27日には中原小学校の教育委員会訪問を実施したところでございます。

右側4ページ、予定等報告ですけれども、11月6日には市議会の文教委員会が開催される予定でございます。行政報告としまして、この後、指導課からご報告をさせていただきます全国学力・学習状況調査の調査結果について報告を行うことを予定しております。

下から2段目、11月8日、9日には市町村教育委員会研究協議会が茨城県つくば市で開催される予定でございます。

また、最後の行、11月15日ですけれども、羽沢小学校の教育委員会訪問を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

その他につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、5ページ、6ページをお開きください。教育センター、また施設係関係の実績、予定等報告になります。主な設計、また工事関係につきまして、記載のとおり取り組みを進めているところでございます。

総務課からは以上でございます。

○高部教育長 次、学務課、お願いします。

○桑名学務課長 学務課でございます。7ページ、8ページをごらんください。

7ページの実績報告でございます。2段目、10月10日に第2回学校給食調理業務委託業者選定委員会を開催しております。新規校と委託開始から5年目を迎える見直し校の事業者選定に当たって、第一次審査で選定した6事業者の二次審査・プレゼンテーションを実施いたしました。

続きまして、8ページの予定等報告でございます。同じく、学校給食調理業務になりますが、11月9日に第3回の選定委員会を開催いたします。来年度から新たに業務委託を予定している第七小学校と、見直し校である第二中学校の事業者の審査を行います。企画提案書、経営状況、プレゼンテーション、見積金額の評価から候補者を決定いたします。その後、庁内の競争入札等審査委員会でプロポーザルの結果を報告し、承認を得た上で、年内を目途に事業者との契約を締結する予定です。

そのほかにつきましては記載のとおりでございます。

学務課からは以上でございます。

○高部教育長 次、指導課、お願いします。

○松永指導課長 指導課です。9ページ、10ページをごらんください。

初めに、実績等の報告です。10月13日金曜日に第2回三鷹市いじめ問題対策協議会が実施されました。この中では、ほかの自治体における、重大事案が発生したときにどのような形の対応が求められたのかといったことにつきまして委員からお話をいただき、理解を深め、三鷹市でそういうことが起きないようにすることはもちろんですが、いざというときにどのような形で対応していくべきなのかといったことについて協議を深めることができました。

翌日、14日土曜日です。この日は台風がどうなるのかと非常に心配していた中ですが、高山小学校の運動会が挙行されました。途中、雨が降ったりとかということも懸念されたんですが、ほとんどのプログラムについて実施することができ、この日に実施できなかった徒競走系のものだけ追加で水曜日に実施をして、全てのプログラムを終えることができました。子どもたちも非常に、人数が多い中ではあったんですが、気持ちを込めた、とてもいい運動会ができたということでもあります。

あわせて、同じ日ですが、第20回三鷹市中学生意見発表会が行われ、各中学校の代表生徒1名ずつ、7名の中学生が意見を発表いたしました。今年度につきましては、会場が元気創造プラザで実施ということになりました。中学生の子どもたちのプレゼンテーション能力が非常に充実して、きちんとした形で意見を聞かせる会になり、非常に盛況でございました。

10ページです。今後の予定につきましてご報告申し上げます。

まず、11月7日火曜日ですが、第一中学校の70周年の記念式典がございます。こちらにご参加いただきます教育委員の皆様は、ぜひよろしくお願いをしたいと思います。

また、10日金曜日にコミュニティ・スクール連絡会、これはコミュニティ・スクール

の会長対象の会ですけれども、これを実施する予定です。今後の三鷹の10年に向けてと
いったところで、ご説明をする予定でございます。

こちらは以上ですけれども、続けて、全国学力・学習状況調査の別刷りのものについて
ご説明をさせていただきます。

平成29年度の全国学力・学習状況調査ですけれども、4月18日火曜日に小学校6年
生及び中学校3年生を対象に実施をさせていただきました。全国では約3万校、207万人
の児童・生徒が参加したものです。三鷹市では全22校、小学校1,326人、中学校1,
040人ということで、2,366人の児童・生徒が参加をいたしました。

調査内容ですけれども、それぞれ国語と算数・数学ということで、問題としてはAとB
という問題がございます。A問題につきましては、主として知識に関する問題、B問題に
つきましては、そういった知識を活用するという、主として活用に関する問題というこ
とで出題をされております。これは例年どおりでございます。その2教科にあわせて、学習
状況に関する質問紙調査を実施いたしました。

データの1枚目をごらんいただくと、こちらは小学校のデータをまとめたものになっ
ています。三鷹市立小学校全体の傾向ですけれども、三鷹市の平均正答率は、国語、算数と
もに、東京都及び全国の平均と比較して上回っております。学習状況につきましては一定
水準以上であるとは言えると思います。この中で、平均正答率の数値では著しい課題等
は見受けられませんが、設問別の分析によりますと、正答率の低い設問が何題かある
わけですが、こちらについても決して三鷹が特殊ということではなく、全国や都で低いも
のは三鷹においてもやや低目であったという傾向がございます。

資料①をつけてあります。各4種類の試験があったわけですけれども、その中で最も
正答率が低かった問題につきまして、こちらに掲載をしてありますので、後ほどごらん
いただければと思います。

2ページ目をごらんください。こちらは中学校の結果になります。三鷹市の平均正答率
につきましては、小学校同様、都の平均、全国の平均と比較して上回っており、こちら
も学習状況は水準以上であると考えています。小学校と同様ですけれども、著しい
課題については見受けられませんでした。やはり都や全国において正答率の低い設問は
三鷹市でも同様に低かった傾向が見られました。こちら資料①に問題の例示が載って
おりますので、後ほどごらんいただければと思います。

3ページ目をごらんください。カラーの棒グラフが出ているものになります。こちらは、
平成27年度から平成29年度の平均正答率を比較しております。この資料を見ていただ
ければわかると思いますけれども、市の平均正答率が都や全国の平均正答率をどの程度上
回ったのかを示しているものです。グラフの中の数字がポイントの部分になりますけれど
も、全国平均との差の部分がここに書かれているところです。

問題の難易度がその都度年度ごとに異なるため、一律な比較はできないですけれども、
過去3か年ともほぼ同じ傾向であることがわかります。平成29年度は、小学校では、国
語Aは全国との比較で5.2ポイントプラス、国語Bはプラス8.5ポイント、今年度はこ
れから求められる学力でもある活用能力を問うB問題のほうが、知識を問うA問題よりも

国・都のポイント差で上回っています。算数も、ほぼ同じ傾向を示しています。算数Aは5.4ポイントプラス、算数Bは8.1ポイント上回る数値を示しました。

4ページをごらんください。こちらは中学校のデータになります。中学校では、国語Aでは全国比較でプラス5.6ポイント、国語Bはプラス5.8ポイントと、AとBの得点差に大きな差は見られません。数学におきましても、A問題で6.4ポイント、B問題で7.9ポイント上回っております。

このデータを見てみますと、小学校、中学校とも基礎的・基本的な知識・理解と、そして技能の活用を図る指導を進めてきている成果があらわれていると考えています。基本的には良好な結果となっておりますが、「三鷹『学び』のスタンダード」(学校版)でも意識して授業改善に努めている思考力、判断力、表現力の育成を重視した指導の成果があらわれているのかなと考えています。

ここで示したのは平均の正答率ですけれども、1枚目、2枚目の度数の分布の部分を見てみると、まだまだ下位層の子どもがいるのも事実です。そういった子どもたちにどんな形で学習支援ができるのかというのを、今後も各学校で進めていこうと考えています。また、後ほど触れます。

5枚目をごらんください。こちらが質問紙調査の結果になります。経年でご報告を毎年申し上げているところは、「三鷹『学び』のスタンダード」(家庭版)で示されている、そこに関連のある項目について報告をさせていただいているところです。

5ページ目を見ると、朝食を毎日食べているか、それから家の人と学校での出来事について話をするか、毎日同じぐらいの時間に寝ているか、同じぐらいの時刻に起きているかという部分です。この辺につきましても、基本的には、全国平均に比べると、よりよい生活習慣になっているのかなと考えることができるところです。この辺の定着の部分につきましても、毎年度ほぼ同じ傾向となっております。傾向としては、全国や都とおおむね変わりませんが、数値的には若干よい生活習慣かなと見取ることができると考えています。

また、その下は、1日当たりどれぐらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしているかといったことです。グラフの左側のほうが時間が多いものになっているわけですが、時間的なことで見ていくと、三鷹の平成29年度は、昨年度に比べると、やや増えている部分はあるんですが、全国や都と比べると、まだ少な目にはなっているところです。

6ページをごらんください。6ページは、左上から、平日どのぐらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりするかということ、それから右側が、1日当たりどれぐらいの時間、コンピューターとか携帯でのゲーム、スマートフォンを使ったゲーム等を含む、いわゆるテレビゲームをするかということです。それから、真ん中の段が、授業時間以外にどのぐらいの時間読書をしているのかという設問、右側が、学校の授業以外に、学習塾や家庭教師を含めて、1日当たりどのぐらいの時間勉強しているのかという時間を問うもの、そして一番下が、土日、学校が休みの日の学習時間ということで聞かれているものです。こちらを見ても、テレビやゲームをする時間については、全国や都の数値と比べ

ると、低い、少なくなっているということ、それから読書の時間については、やや多目の傾向になっているのかなということ、それから平日、休日を問わず、学習する時間につきましても全国や都よりも多い傾向にあるなど、よい生活習慣、学習習慣がついている児童・生徒も多くいる傾向が見られます。

しかしながら、時間の使い方につきましては個人差があるものでもありまして、バランスを欠くようなことのないようにということで、学校のほうでも指導していくことになるわけですが、よりよい生活習慣、学習習慣に向けて今後も改善がなされるように取り組んでいきたいと考えています。

こちらの結果の今後の活用についてですけれども、まず各学校の状況、課題を抽出しながら、どう改善していくのかということを授業改善推進プラン等に反映させています。この結果を踏まえた授業改善の計画を全ての学校で行い、これについては、既に全部の学校から教育委員会指導課に提出をしていただいたところです。今後、これはホームページでアップされる予定です。

さらに、現在、各学校が作成をしている途中になると思いますけれども、平成30年度の教育課程に、このデータの結果をどう改善していくのかといったことを反映させていくこととなります。

あわせて、「三鷹『学び』のスタンダード」をもとに、各学園で児童・生徒の実態を踏まえた学園スタンダードの策定を進め、家庭学習を含めた望ましい学習習慣について、学校・家庭・地域が一体となって学力向上を推進する実効的かつ総合的な方策を各コミュニティ・スクール委員会で議論し、各児童・生徒及び各家庭に示すように指導していくつもりでおります。

以上で報告とさせていただきます。

○高部教育長　それでは、図書館、お願いします。

○田中三鷹図書館長　図書館でございます。

11ページ、12ページをごらんください。まず、実績報告でございます。イベントでございますが、10月5日木曜日、南部図書館みんなみで行った、みんなみサポーターによる大人向けおはなし会です。サポーターによる昔話を中心とした、大人向けにおはなし会を開催しております。20人の方にご参加をいただきました。

10月15日の日曜日は、図書館フェスタを開催しております。当日は雨でしたが、全てのプログラムを館内で実施し、1,545人の方にご来館いただいております。

続いて、10月28日の土曜日は、東部図書館サポーター設立懇談会の2回目を開催しております。また、今後の図書館のあり方とサポーターとしての活動について、いろいろとご意見をいただいたところでございます。

では、右のページになります。中段の展示でございますが、お席のほうに寄贈記念特別展「神沢利子さんのおくりもの」のチラシを置かせていただいております。こちらにご紹介もありますが、市内在住の神沢さんから700点にも及ぶ貴重な資料を三鷹市が寄贈を受けたことから、今回、11月18日の土曜日から12月10日の日曜日まで、三鷹市立図書館本館で特別展を開催いたします。また、チラシの下段にあります、ネットワーク

大学を会場として、2本の講演会も実施をする予定であります。11月19日は作田真知子さん、元福音館編集者の方のお話で、2回目については、絵本作家のあべ弘士さんにお越しいただいて、講演会をする予定となっております。また、この展示は、12月12日以降、少し展示内容を変更しながら、展示ホールで引き続き展示を行う予定でございます。

記載にはない展示ですが、11月16日木曜日から12月3日の日曜日、西部図書館において、おおさわ学園の読書活動の紹介展示を開催いたします。3回目の開催となりますが、児童・生徒による読書感想文・感想画、また図書委員によるポスターなどを展示して、おおさわ学園の児童・生徒の活動についてご紹介する展示となっております。

続いて、11月17日の金曜日、地域で活動するボランティア団体と共催して、大人向けのおはなし会を駅前コミュニティ・センターで夜7時から開催いたします。

また、翌日、18日の土曜日は、最終回になります東部図書館サポーター設立に向けた懇談会を開催いたします。

続いて、11月23日の木曜日、祝日になりますが、南部図書館において、みんなみフェスタを開催いたします。開館4周年を迎え、午前中にはアジア・アフリカ語学院の留学生との交流イベント、午後には講演会「インターネットが変える中国社会 伝わらないその変貌ぶり」ということで、桜美林大学の高井潔司教授をお迎えして、講演会を行う予定となっております。

最後になりますが、例年行っている蔵書点検の関係で、駅前図書館が11月14日火曜日から16日の木曜日、本館におきましては11月14日の火曜日から17日の金曜日に臨時休館となります。

それ以外の内容については、表記のとおりでございます。

○高部教育長 スポーツと文化部、お願いします。

○向井教育部理事 スポーツと文化部、13ページ、14ページです。生涯学習、スポーツ、文化の秋を迎えて、10月、11月、さまざまなイベントが開催されております。私からは、文化施策に関する報告をさせていただきます。

13ページ、10月29日、第64回三鷹市市民文化祭開会式が開催されました。14ページに11月26日閉会式となっておりますけれども、約1か月余り、市内七つの会場で文化祭が開催されています。お配りした小さいパンフレットでございますが、会場ごとの催しの日程が記載されています。今年度の特徴の一つとして、次世代に伝統文化を継承する貴重な機会として、小学生や中学生の方にも参加や発表していただくということがございました。いずれも、10月から11月にかけて、さまざまなイベントが開催されますので、皆様もお時間がありましたら、お越しいただければと思います。

私からは以上です。

○高部教育長 古谷課長。

○古谷教育部参事 生涯学習課です。実績でございますが、お手元に古民家の見学会というチラシをお配りしております。10月15日に大沢二丁目古民家整備工事見学会を実施いたしました。今年の5月までに解体工事が終わりました、その後6月から整備工事ということで、建物を建ち上げております。その途中で、現在、このチラシの図は解体の写

真が入っているんですけれども、チラシの作成に整備の写真が間に合いませんでしたので、解体の写真を入れてあります。現在、もう既に全部解体が終わって、柱とか屋根の小屋組みと言われる木材組みを済ませておまして、15日に市民の皆様をお迎えして見学会を実施したものです。当日は雨だったんですけれども、参加者が42人ということでご参加いただいております。

また、26日木曜日でございます。これは三鷹市生涯学習センター利用者懇談会ということで、今年度、生涯学習センターが開設いたしまして、初めての利用者懇談会が実施されたということでございます。

また、28日につきましては、東京都市町村社会教育委員連絡協議会の第5ブロック研修会を生涯学習センターで行いました。三鷹市が幹事市になりまして、近隣の武蔵野、調布、府中、小金井、狛江の第5ブロックの社会教育委員さんにお集まりいただいたところでございます。

14ページ、予定でございます。11月7日に、第1期三鷹市生涯学習審議会の第2回定例会を生涯学習センターで実施する予定でございます。

また、11日には文化財講演会「大政奉還から150年——三鷹吉野家文書からよむ幕末群青史」ということで、町田にあります小島資料館の小島館長にお越しいただいて、講演会を実施する予定です。

私のほうからは以上です。

○高部教育長 室谷課長。

○室谷教育部参事 スポーツ推進課でございます。私のほうから、大きく4件、スポーツに関するご報告を申し上げます。

まず、13ページの実績報告につきましては、10月8日、好天のもと、2017みたかスポーツフェスティバルを新たな中央防災公園・元気創造プラザSUBARU総合スポーツセンターで開催いたしました。当日の来場者については延べ2万人の市民の皆様においでいただき、1日にぎやかなスポーツに親しむ日となっております。

続きまして、25日の水曜日、三鷹市体育協会創立60周年記念式典、公会堂さんさん館で式典及び祝賀会が行われています。こちらでは、60年の功績を讃えて、三鷹市長から体育協会へ感謝状の贈呈が行われました。

続いて、予定等の報告でございますけれども、11月16日でございます。こちらは金メダリストによるフェンシング競技紹介イベントということで、SUBARU総合スポーツセンターのサブアリーナで開催いたします。お手元に資料を配付しております。イタリアのロンドン五輪の金メダリストのヴォレリオ・アスプロモンテ選手、こちらはその前の週に日本でちょうどフェンシングの世界カップ大会が行われまして、その後に、この日に三鷹にお越しいただける調整ができました。そしてまた、この期間、ちょうど10月28日から11月28日の1か月間が東京2020大会の1000日前キャンペーン期間ということで、この公認プログラムを取得しまして、こういった紹介イベントを行うことになっております。当日は200人定員ということで、当日参加の見学イベントとなっております。

そして、最下段、11月26日の第26回目を迎えます三鷹市民駅伝大会でございます。こちら資料、プログラムを配付させていただいております。今回のデザインは、にしみたか学園第二中学校の美術部の2年生にご協力いただいて、デザインをしていただいております。また、中学生のチームは、史上最高になる200チーム中26チーム参加していただけることになっております。昨年まで市役所がスタート・ゴール地点だったんですけれども、今回は三鷹中央防災公園・元気創造プラザがスタート・ゴール地点となります。

また、こちらのチラシに書いてありますオリンピック・パラリンピックの気運醸成事業として、同時開催で「走りっこ教室」、これは昨年開催して大変好評でありまして、今回は未就学児を対象に50人の募集をかけました。先月いっぱい締め切ったところ、400人を超えるお申し込みをいただいているところでございます。やはりオリンピックということで、市民の皆さんのスポーツへの関心、参加率が非常に高まっているなというのを肌身に感じているところでございます。

私からは以上です。

○高部教育長 以上で報告は終わりました。委員の皆様の質疑をお願いいたします。高橋委員。

○高橋委員 就学時健診を行ったようですけれども、就学時健診は、来ていただきたい人になかなか来ていただけなかったりするようなことはないでしょうか。それぞれがきちんと適正な環境で指導が受けられるような状態でスタートできるようなフォローができていればいいと思うんですが、そのあたりのところがなかなかうまくいかない現状もあるのではないかと、就学時健診については、ほぼ問題なく完結したのかどうか教えてください。

2点目ですけれども、学力テストです。平均はわかるんですけれども、平均では言えないものもあるのではないかと、高い学校があれば、平均は上がります。けれども、そうではない学校もあるのではないかと、状況として、課題を感じておられる部分はないのでしょうか。学校によっては、常に厳しい状況の中にある学校もあるのではないかと、私を懸念しています。

○高部教育長 1点目の就学時健診について、学務課長。

○桑名学務課長 就学時健診ですが、例年95%から96%の方が受診をしております。もちろん、私立の学校等に行かれる方もいらっしゃるのですが、三鷹の健診を受診されない方もいらっしゃるかと、総合教育相談室とも連携をしながら、必要な方については必要な対応をとっていくという流れの中で、相談等があれば、順次行っております。

受診率等から見ても、悩んでいる方については、受診をしているのではないかと感じているところです。

○高部教育長 制度上は、学校に入学するときは、入学者は100%受けることになっているんですか。

○桑名学務課長 制度上は、自治体に実施の義務がありますが、受診者のほうに受診義務はありません。

○高部教育長 機会は提供するけれども、何らかの事情でその期間間に合わなかった人

は、最寄りの診療所へ行って受けて、それを提出してくださいという制度にはなっていないんですか。

○桑名学務課長 そのような制度にはなっていないので、負担も個人での負担になってしまいます。

ただ、こちらのほうから、当日各学校で実施をするのと、当日出席できなかった場合については予備日での開催をご案内して、予備日の開催もどうしても受診できない方については、受診をしてくれるようにということで、ご依頼といたしますか、内科の受診についてはご案内をしております。

○高部教育長 では、学力テストの各学校ごとの分析について。

○松永指導課長 委員がおっしゃるように、平均でというのは、ある一側面での見方だということは認識しています。各学校において、度数の分布だけではなくて、下位層の子どもたちがどのぐらいいるのかについては、いわゆる四分位、25%ずつに切っていったときの部分で一番下のDの層の子どもたちがどのぐらいいるのかといったことは、一つの指標として、各学校での指導改善に努めているところです。

上位層の子どもたちだけではなくて、下位層の子どもたちを含めて、全ての子どもたちができる、わかるという状況にしていくということが、今、学校にも求められていることだと考えております。そういった部分で、各学校でも補充教室等を放課後、夏季休業日中等も実施しながら進めています。また、みたか地域未来塾等の取り組みも3学園に広がってきました。そういったところで、放課後、大学生、地域人財の皆さんに学習を見てもらえる仕組みも整えてきていますので、そういった制度もあわせて使いながら、一人でも悲しい思いをする子どもたちがいないようにということで、各学校で取り組んでいます。

もう一つは授業改善だと思います。そちらもあわせて進めていますし、実際、そういった部分が進んできたことで成果が顕著に上がってきている学校もありました。

以上です。

○高部教育長 よろしいですか。

○高橋委員 まず、就学時健診については、これは各校で行っているけれども、各校のすべきことではないですよ。各校が受け入れるときに、データのない状態の受け入れは非常に学校を苦しくすることがあります。95%で私立が抜けるといっても、学校に来る子については100%のデータを出していただけると、各学校は安心して受け入れ態勢を整えられると思っているので、フォローをぜひお願いしたいと思っています。

学力調査の各学校のデータを私たちは見ることはできるんですか。

○高部教育長 学校ごとの分析はしているんですよ。

○松永指導課長 はい、しています。

○高部教育長 学校単位のデータはありますよね。

○松永指導課長 はい、持っています。

○高部教育長 全国版でやったときも、学校に戻すのは、当該学校が三鷹市の平均や都や全国と比べてどうかというデータはあるんですよ。

○松永指導課長 はい、出ます。

○高橋委員 公表されるのは、どう対応するかというところですよ。

○松永指導課長 はい。

○高橋委員 結果そのものが公表されることはないですよ。

○高部教育長 文科省が4、5年前に、国会議員の中から、もっと問題点を明らかにすべきではないかということで、あれは任意になったんですよ。自治体ごとの判断で公開していただいても結構です。今、三鷹市でやっているのは、当該学校が当該学校のデータを保護者やCSにはオープンにしましょうと。ただ、三鷹市の中で順位をつけて、その序列を一覧でオープンにすることは積極的にはやりません。逆に、ハレーションというか、マイナス面が多いので、それはやりませんというスタンスですね。

ほかにかがででしょうか。畑谷委員。

○畑谷委員 7ページに10月17日に行われました市のスクールカウンセラーの連絡会というのがあるんですけども、これは各学校のスクールカウンセラーさん同士の連絡会ですよ。

○田中学務課教育支援担当課長 こちらは、総合教育相談室から派遣している市配置のカウンセラーの連絡会です。今のところ、小学校にしか配置していませんので、その方たちの研修会を兼ねた連絡会でございます。

○畑谷委員 このスクールカウンセラーの方に相談に行った子どもたちがいますよね。そういう子どもたちの情報は、常時その学校の管理職の先生のほうに直に行くんですか。

○田中学務課教育支援担当課長 そうです。そして、個人情報を守秘しながらも、必要な情報は月例報告で私どものほうにも上がってまいります。

○畑谷委員 校長先生が知らないということはないですよ。では、カウンセラーの方に相談したけれども、何の返答もなく何の対処もないだけどもという場合はあり得ないんですね。

○田中学務課教育支援担当課長 はい。あり得ないはずですよ。

○畑谷委員 わかりました。

もう一つお尋ねします。13ページの生涯学習センターの利用者懇談会ということで、施設が新しくなって、今までの教室と比べて、利用者から見ると教室の部屋数も減りましたよね。この懇談会の中で、どのような内容が話し合われたのか教えていただきたいです。

○高部教育長 古谷課長。

○古谷教育部参事 部屋のことも含めて、事業も含めまして、生涯学習センターの運営、施設全体について、利用者の方のご意見をいただく場になっております。前回は部屋の数の問題については特に出ませんでしたが、今後、そういうことが出てくれば、取りまとめをいたしまして、市長のほうに書面により提出するという運びになります。

○畑谷委員 今まで生涯学習センターを利用されていた方から、使いにくくなったという話をちらちらと聞くので、この懇談会の中でそれが出たのかなと思ったら、逆に、そういう話は出ないんですね。

○古谷教育部参事 今年度は全体で2回やります。これから、あと1回やるんですけども、そういう中に出てくることは十分考えられます。また、それとは別に、そういうご

要望は開設当初やりとりをさせていただいて、ここまで来ていますが、また改めてそういうご意見が出る場合もあり得るかなとは思いますが。

○畑谷委員 ありがとうございます。

○高部教育長 スクールカウンセラーに戻るんですけれども、この連絡会というのは、今言ったように事務局というか、総合教育相談室も入って、市のカウンセラーの横の連絡会、研修を兼ねた会議ということで、任意でただ集まったという話ではないですね。

○田中学務課教育支援担当課長 違います。

○高部教育長 もう一つは、組織で共有化するという事は非常に必要なことだと思うんですけれども、例えば養護教諭とか当該の担任とか学年主任も入れて、ケース会議みたいなものはそれぞれ学校ごとで行われているんですか。

○田中学務課教育支援担当課長 はい。それはそれぞれの校内で行っています。ただし、守秘義務がございますので。

○高部教育長 やはりプライバシーがあるから、さっき校長は全て知っていますと言われたが、それは、共有できる部分と守らなければいけない部分があるわけでしょう。

○田中学務課教育支援担当課長 はい、そうです。もちろん、相談の中身まで全てを報告しているわけではありません。けれども、子どもの命にかかわることですとか、いじめですとか、それから不登校ですとか、そういう課題のあるケースについては、まずは子どもに、これは校長先生や担任の先生にお話をしたいんだということを告げて、お話をするようにしております。ただ、子どもにそこで了解が得られない場合には内々で、子どもとの約束の中ではできなかったけれども、管理職にはそれは知らせるということになっております。

○高部教育長 では、学校の対応も含めて、いつまでに回答が欲しいと言ったときに、お約束したときはちゃんとその期限までにフィードバックはするわけですね。

○田中学務課教育支援担当課長 もちろん、そうです。保護者の方、また子どもとの約束もありますが、回答の約束をした場合には、必ずそれはするようにさせております。

○高部教育長 何か具体的なケースがあった訳ですか。

○畑谷委員 いいえ。対処がないというのをちらっと聞いたので、その辺はどうなっているの、動いてくれないのというのを聞いたので、もしほんとうに困っているなら、直接教育委員会に相談に行ったら、その窓口はあるのではないのかという話をしたんです。

○田中学務課教育支援担当課長 スクールカウンセラーとの相談で解決するケースもあれば、学校長であったり、それから指導課や子ども相談室とのやりとりが必要な場合もあるので、それはスクールカウンセラーと学校長で相談をした後につながるようになっていきます。

○高部教育長 ほかにいかがでしょうか。須藤委員。

○須藤委員 オリンピック・パラリンピックに関してです。三鷹市でも、フェンシング競技の紹介のように、2020年のオリンピックに向けて、いろいろなイベントをされているんですが、学校のオリパラ教育で、各学校にある程度内容等は任せているかと思うんですけれども、各学校ごとに温度差というか、ばらつきがあると思うんです。その辺はい

かがでしょうか。

○高部教育長 指導課長。

○松永指導課長 オリンピック・パラリンピック教育も、さまざまな側面から各学校で子どもたちの状況に応じて進めているところです。

ただ、全都的な取り組みとして幾つかあるんですけれども、オリンピック・パラリンピック競技に関するプロジェクトが四つほどあります。一つは、世界ともだちプロジェクトということで、来られる国々について、何らかの形でその国のことを学習しながら交流ができるようにすることです。それから、夢・未来プロジェクトということで、これが一般的によく言われているオリパラのアスリートの人たちと触れ合ったりとか、そういう直接的な部分のことです。それから、スマイルプロジェクトということで、おもてなしの部分も含めてですけれども、思いやりの心を育てる取り組みとか、ボランティアマインドやスポーツ志向の醸成といったことについての取り組みです。それから、最後は東京ユースボランティアという取り組みで、これは各学校が取り組んできた社会奉仕の精神とか、あるいはさまざまな地域のスポーツイベント等への参画等、そういったことを中心に進めているところです。

今、各学校では、教育課程のほうでも先ほどお話ししたんですけれども、これに取り組むことになっているということで、各学校で準備をしながら進めていきなさいということでやっているところです。

○須藤委員 例えば、SUBARU総合スポーツセンターの大きなアリーナができて、各学校がオリパラ教育で使いたいとか、そういった連携もできていいのかなとか、利用してもらったほうが、昼間の時間等あいている時間帯があれば、あの施設もかなり大きいですし、知らない子たちもたくさんいるでしょうから、学校とも密に連絡をとってもらって、ここを利用してもらおうというのでもいいのかなと思いました。

○高部教育長 アスリートを呼んできたときには、この前の卓球の平野さんみたいな形では全市的に子どもたちが来るんですけれども、学校の中での連携で、例えば複数で大会をやるかというのは、中学校の特別支援教育ではあったんですけれども、それ以外にはそういう活用の仕方はあるんですか。

○松永指導課長 お金がかかることなので、予算化されていないところで、なかなか難しい部分もあるかなと考えているところです。

○高部教育長 ほかに。高橋委員。

○高橋委員 健康寿命の延伸というときに、新しい総合スポーツセンターは、これからのあり方を決めると私は思っているんですけれども、何か大きな変化とかあったら教えていただきたいと思います。今までスポーツにかかわらなかった層がかかわってくるようなことは起きてきているんでしょうか。それが1点目です。

2点目は、「走りっこ教室」に400人の子どもたちの申し込みがあったというのはすごいことで、この時期からちゃんとやれるのであれば、それもまた健康寿命の延伸に大きくかかわってくるので、350人の子たちがかわいそうかなと。あの子たちをフォローしてあげられる方法はないのかなと思っているんです。こういう企画で「走りっこ教室」があ

るなら、「投げっこ教室」があったり、「蹴りっこ教室」があったり、この時期から子どもたちが運動に親しめるようなプログラムがこれからも増えていくといいなと思います。

○高部教育長 向井部長。

○向井教育部理事 健康寿命のほうの関係でありますけれども、元気創造プラザを整備するに当たっては、まず市民が健康で、いつまでも活動ができるということが医療費の削減につながるであろうというコンセプトのもと、新しい施設にはスポーツの施設とともに、健康推進課が所管している総合保健センターも同じ場所に配置しています。そこで二つの施設が互いに連携し合って、例えばスポーツには抵抗があるけれども、食事の内容について総合保健センターで相談するとか、また健康推進課のほうに少し運動してみたいんだけどという相談があれば、スポーツセンターのトレーニングルームをご紹介するといったような、お互いに同じ施設の中で連携をし合って、健康・スポーツの拠点としての活動を推進できればと考えています。

実際、システムを活用して、その人に合ったプログラムを提供する取り組みも行っておりますけれども、予想以上に反響がありまして、多くの方にご利用いただいている実績もございます。

私からは以上です。

○高部教育長 室谷課長。

○室谷教育部参事 子どもたちを対象にした教室、昨年も「走りっこ教室」を行ってまして、昨年は小学生が対象だったんですけれども、その後、この指導者の方と話し合いをしまして、やはり将来的には、「三つ子の魂百まで」ではないですけれども、未就学児がほんとは一番効果的だというようなアドバイスをいただきまして、今回、年齢を下げたところ、予想をはるかに上回るお申し込みをいただいています。

今、定員50人ということになっておりますけれども、当日は杏林大学の陸上部ですとか、学生のボランティアにも協力していただきます。指導者の関係で、一人ひとり丁寧に見るというところでは、指導のスキルなども皆さんに習得していただいています。また、外れたお客様から結構、スポーツフェスティバルの能力測定会や、「ひろみちお兄さんの体操教室」も外れた方がかなりいらっしゃって、何とかならないのかというご要望をかなり受けているんですけれども、ぜひご見学いただくだけでも、お父さん、お母さんに見ていただくことで、何か家庭教育なり、ふだんの体遊びの中に生かせる部分があるということでご理解いただいております。委員のご意見も踏まえて、また来年、再来年と、より充実した、より多くの皆様にご参加いただけるような工夫はしていきたいと思っています。

以上です。

○高部教育長 次回でもいいですけれども、先ほど言われた、一つ新しい施設のモデルとして健康相談システムというのをつくりましたよね。その人の状況に合わせて、どんなメニューがいいのかというのを、科学的にというか、専門的なスタッフを活用しながら、データも把握しながらアドバイスするというシステムができたので、どんなものなのかというのを、ちょっと報告してもらえますか。それこそ健康長寿のための、ただ競技性を高めるというだけではなくて、健康で長寿にしていくのにスポーツをどうやって活用してい

くかという仕組みをつくったので、次回あたり、アナウンスしてもらえますかね。

○向井教育部理事 はい、わかりました。

○高部教育長 特に、未就学児は、走りっこもそうなんですけれども、わんぱく相撲という、これは相撲連盟とかJ Cの方に協力してやっていただくんですが、300人ぐらい集まるんです。未就学児が半分ぐらいなんです。それは親子で一緒にスポーツに親しもうということで、今、相撲もかなり人気があって、だから、走るのもそうだし、相撲もそうだし、いろいろなイベントの中で親子で参加できるような機会は、ああいう施設ができたので、これからもっとやっていいなと思いますので、ぜひ財団のほうにもかけ合って、増やしてください。

ほかに、いかがでしょうか。池田委員。

○池田委員 9ページ、10ページのあたりで家庭教育学級が各校で実施されているということですが、これはこの時期に毎年やりましょうということになっているんですか。

○高部教育長 指導課長。

○松永指導課長 これは、各学校のPTAのほうで行うことになって、PTAの組織の中で、いろいろ言い方はあるんですが、教養委員会とか、そういう方々が企画をして毎年実施をすることになっています。ですから、学校単位でこの時期にということ、学校のいろいろな行事とあわせて設定しています。

○高部教育長 学校単位で主体的にテーマを設定して、講師はこちらから相談して派遣するケースもあるだろうけれども、それを支援しているということですよ。

○松永指導課長 そうですね。基本的には、学校のほうで講師選定まで進めていることが多いです。

○高部教育長 PTA全体での研修会としては、10月24日にPTA連合会合同研修を行いました。例年、光のホールで500人ぐらい集まるぐらいの研修会です。これは指導課も出てやっているわけですよ。

○松永指導課長 こちらは、PTA連合会と教育委員会の共催という形でやっています。

○高部教育長 よろしいですか。

○池田委員 わかりました。

○高部教育長 ほかに。高橋委員。

○高橋委員 お願いですけれども、指導課訪問されていますが、これは全部の学校ですよ。

○松永指導課長 半分です。2年に1回で全校回っています。

○高橋委員 そうですか。全部行っていただけるとありがたいんですけども。

各学校の状況が一番わかっているのは指導課の皆さんだと思うし、文科省の結果を見ても、各学校の抱えている課題はさまざまだし、今、学校がそれにほんとうにきちんと対応できている状況にあるかどうか一番わかってくさっていると思うんです。これから人事が動きますけれども、人事は弱い学校から大事にやっていただきたいというのが私の希望です。

○松永指導課長 バランスよくやらせていただいております。

○高橋委員 はい。

○高部教育長 ほかに、いかがでしょうか。

ないようですので、それでは、日程第2 教育長報告を終わります。

以上をもちまして、平成29年第11回教育委員会定例会を閉会いたします。

午後 4時34分 閉会